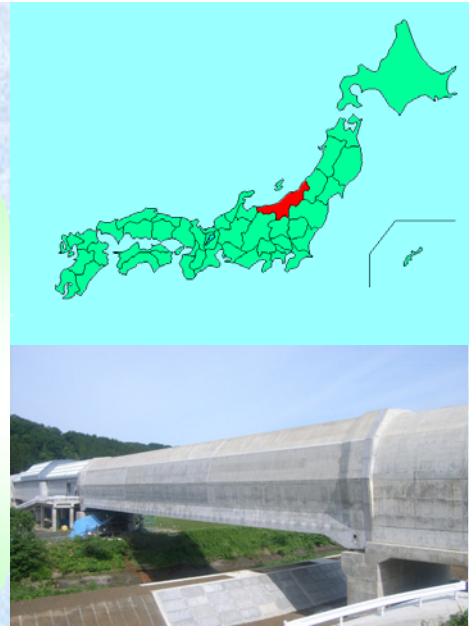




くわとりがわ どぐちがわ
桑取川B・土口川B



桑取川B・土口川Bは、北陸新幹線 上越～糸魚川区間のトンネルまばたき区間の超豪雪地帯に位置することから、PC下路桁とRCコンクリート頂版が一体化されたPC下路桁RCシェルター付構造の橋長65m・60mの単純桁橋です。

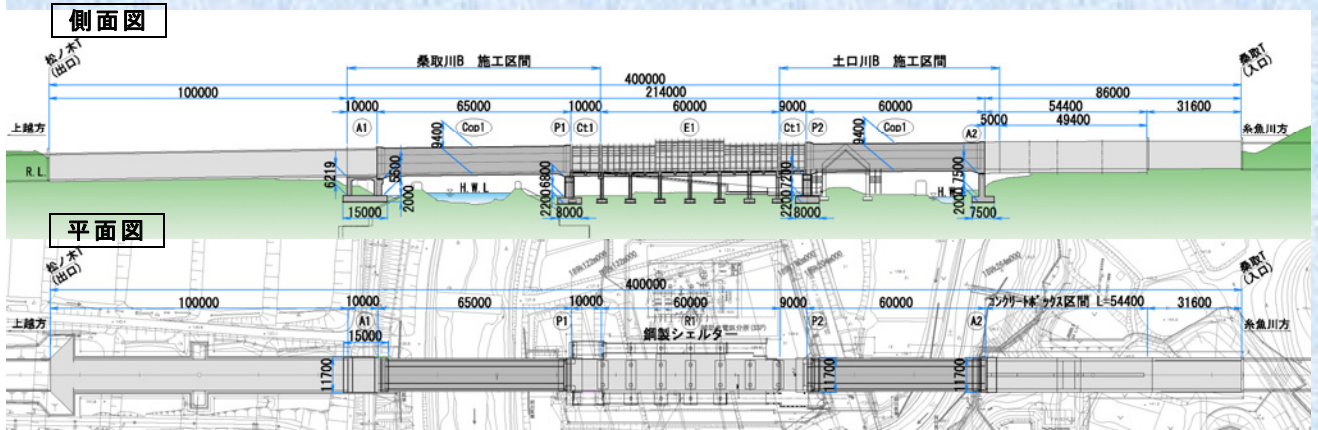
本工事では、この2橋の他にPC下路桁RCシェルター付(橋長40m・30m7橋)、PPC単純T桁橋(7橋)、RC単純T桁橋(2橋)の総延長654mの製作・架設、覆工RCトンネル(25m)、ボックスRCトンネル(5m)及び落雪防護工(8箇所)を構築する工事です。

PCスノーシェルター桁は、河川あるいは一般道と交差する条件であるため、支保工にてPC下路桁を製作し、支保工を撤去した後、内部支保工にて頂版コンクリートを施工します。

このPC下路桁RCシェルター付構造は、PC下路桁鋼製シェルター付構造よりも工事費において経済的であり、LCCも低減できることから採用されました。

桑取川 B

◆一般図



◆橋梁諸元

工事名：北陸新幹線 上越・糸魚川地区
 (PCけた) 桑取川B・土口川B
 発注者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構
 設計者：八千代エンジニアリング(株)
 位置：新潟県上越市大字土口
 形式：単純PC下路桁橋 (RCシェルター付)

軌道構造：スラブ軌道
 荷重：標準列車荷重 P-16
 橋長：65.0、60.0m(63.4、58.4m)
 総幅員：標準部 10.8m、鋼製シェルター接合部 11.6m (建築限界幅 9.5m)
 架設工法：支保工架設工法
 PC鋼材：主方向：SWPR7BL 12S15.2 (フレシネー工法：マルチシステム)
 鉛直締：SWPR19L 1S28.6 (SM工法：プレグラウト鋼材)
 横締：SWPR7BL 12S12.7 (フレシネー工法：Vシステム)

